 I-ADApT**事例研究テンプレート**

**統合海洋生物地球化学及び生態系研究プロジェクト**

**(Integrated Marine Biogeochemistry and Ecosystem Research)**  [www.imber.info](http://www.imber.info)

本テンプレートの目的は、意思決定支援ツールの開発のために、多くの事例を収集することを通じて、管理者、研究者及び地域のステークホルダーにおける(1)効率的な意志決定、(2)問題対応力の改善、(3)効果的な資源配分を図り、沿岸地域住民の脆弱性の補完及びグローバルチェンジ (Global change)への対応力を高めるところにあります。意思決定支援ツールである I(MBER)-ADApT(Assessment based on Description and responses and Appraisal for a Typology)は、グローバルチェンジの環境的、社会的及びその他の影響に対処するために行われた、既存の海洋関連事例研究から習得した知識を基に構築されます。事例研究は、相互密接にかかわっている今日の自然システムと社会システムを十分考慮しなければなりません。そこで、本テンプレートでは、グローバルチェンジに対応した既存の事例から何を学ぶべきか、それらの情報は現在及び将来のグローバルチェンジに関連する意思決定にどのように活かすべきか等について明確な質問を設けています。従って、貴方が提供する情報は、本意思決定支援ツールの開発に大変重要な役割を果たすことになります。

I-ADApTは、 IMBER（統合海洋生物地球化学及び生態系研究プロジェクト、 [www.imber.info](http://www.imber.info)）の社会科学分野のワーキンググループ(Human Dimensions Working Group)により開発されました。I-ADApTは、陸域及び海域のグルーバルチェンジを含む幅広い領域における問題に適用できますが、現段階では漁業及び養殖に関わるの海洋社会及び生態系に焦点が絞られています。人間社会と海洋の相互作用に関する幅広い視点を持つことを通じて、生物化学からガバナンス、相互作用やフィードバックへの認知まで、海洋生態系と人間社会の相互作用に関する複雑な性質を扱うことになります。海洋生態系は、自然、社会及びガバナンスの複雑な影響を受けるため、人間社会と海洋環境の相互作用に関する理解を深めることは、私達の食料安全保障、住居、生活、健康を脅威する問題の解決に役に立ちます。

このようなフレームワークの開発は、学際的アプローチが必要です。本テンプレートは、6つのセクション（A-F）、計30項目の質問から構成されており、自然科学及び社会科学等複合的情報が求められるため、本テンプレートの作成に異分野の研究者間の協力・共同作業をお勧めします。また、本テンプレートは、海洋生態系の自然属性を社会システムやガバナンスシステムに連結させる視点から、漁業と養殖に影響を及ぼす「問題(Issue)」を中心に設計されています。本テンプレートを作成するにあたって、最も目立つ問題(例えば乱獲、外来種、海洋酸性化、市場のグローバル化、観光等)に焦点を当てていただければと思います。他の関連問題(Issue)がある場合、テンプレートの背景部分の適切な項目に記入してください。セクションAからFまでの入力が求められており、セクションGは用語解説になります。

　我々の長期目標としては、意思決定者、研究者及びステークホルダーが難しい選択やトレードオフ関係に直面した際の意思決定に役立つオープンアクセスのウェブサイトを立ち上げ、グローバル事例研究のデータベースを開発することです。これはすなわち、貴方が提供した情報やデータの一部は、ほかの利用者がアクセス可能とあることを意味しています。完成した事例研究テンプレートを私どもにお送りいただくことで、オンライン情報を含む該当情報に関する貴方の許可を得たものと見做します。従って、同意しない場合は、不同意書（セクションI）をご作成及び送付ください。

　その他、本ワーキンググループでは、現在 I-ADApTに関する解説と具体的なケーススタディから得た教訓を総合的に盛り込んだ本の出版を行っています。そして、今後もこのような本の出版を継続することを通してI-ADApT分析を深めたいと考えております。ぜひ私共の企画に積極的にご参加いただき、事例研究に関するチャプターの執筆をお願いできればと思います。ご興味のある方は、下記問合せ先までご連絡いただければ、具体的な事項についてご相談させていただきます。

　本事例研究テンプレートの作成にご賛同いただいたことにもう一度お礼申し上げます。記入のテンプレート、及び参考テンプレート（ウルグアイの事例）を、下記のウェブサイト (<http://www.imber.info/index.php/Science/Working-Groups/Human-Dimensions/IMBER-ADApT>) からダウンロードすることが可能です。 IMBER HDWG [imber@imr.no](file:///E:\AppData\Users\lisama\Desktop\imber@imr.no)（英語の場合）へ、[またはriginki@tokai-u.jp](mailto:またはriginki@tokai-u.jp)（日本語の場合）へ、ご作成の事例をお送りいただければ幸いです。

**IMBER HDWG メンバー**

Edward Allison (University of Washington, USA)

Alida Bundy (Fisheries and Oceans Canada)

Ratana Chuenpagdee (Memorial University, Canada)

Omar Defeo (Universidad de la República, Facultad de Ciencias Marine Science Unit, Uruguay)

Bernhard Glaeser (German Society for Human Ecology, Germany)

Patrice Guillotreau (University of Nantes, Nantes, France)

Moenieba Isaacs (University of Western Cape, South Africa)

Yinji Li (Tokai University, Japan)

Ian Perry (Fisheries and Oceans Canada)

Sarah Cooley (Woods Hole Oceanographic Institution, USA; associate member)

Mitsutaku Makino (National Research Institute of Fisheries Science, Japan; associate member)

***ご質問等ございましたら、下記メールにお問い合わせください。***

***〇英語でお問い合わせの場合：***[***imber@imr.no***](mailto:imber@imr.no)

***〇日本語でお問い合わせの場合：[riginki@tokai-u.jp](mailto:riginki@tokai-u.jp) （李銀姫、IMBER HDWG Co-chair、東海大学海洋学部　准教授）***

***ご協力ありがとうございます！***

**事例研究テンプレートセクション** (CASE STUDY TEMPLATE SECTIONS)

[A. 背景 5](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[B. 発生要因及びその影響 8](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[C. 脆弱性（6問） 10](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[D. ガバナンス及びガバナビリティ（8問） 11](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[E. 対処・対応（2問） 14](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[F. 評価 （7問） 16](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[G. 用語解説 19](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

[I. 不同意書様式 24](file:///C:\Users\ginki\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\IE\WB9ASX68\¥l)

# A. 背景

**このセクションでは、貴方及び貴方の事例研究に関する基礎情報だけではなく、事例研究の中、漁業及び養殖業に影響を及ぼしている問題（issue）に関する明確な説明をお願いします。主な問題点を理解するのに必要となる多くの情報をご提供ください。必要な場合、新しいページを追加していただき、地理位置等の情報もご提供いただければと思います。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **情報** | **細部項目** | | |
| 事例研究の提供者  (事例研究にかかわるすべての方) | 氏名:  所属:  Email: | 氏名:  所属:  Email: | 氏名:  所属:  Email: |
| 事例地域名 |  | | |
| 国/管轄国 |  | | |
| 地域的位置  (温帯、熱帯、又は高緯度など) |  | | |
| 生態系のタイプ  (沿岸域、礁湖、大陸棚または公海、その他) |  | | |
| **主な問題（Issue）**  (a)事例研究に影響を及ぼす主な問題について項目ごとに簡潔にご説明ください。 | 主な問題についての説明  位置  貴方の事例研究の海域の大きさ (km2)  主な生物種  主な生息地  貴方の事例研究で人々が居住する地域の大きさ (km2)  主な利害関係者  主な問題の影響を受ける人口の数  貴方の事例研究地域の総人口の数 | | |
| 1. 主な問題が発生したのはいつですか？ |  | | |
| 1. 本事例研究に含まれていないが、当該問題（Issue）の影響を受けたその他の地域はありますか？あれば、どのような地域があるのかを教えてください。 |  | | |

ここに、事例地域の地図を挿入してください。

# B. 発生要因及びその影響

**このセクションでは影響を受けた自然と社会及びガバナンスシステムの規模、これらのシステムに影響を及ぼした要因、それによる変化、変化の原因及び影響等に関する情報を収集します。各質問に対し、200～300語以内で、できる限り多くの情報をご提供ください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **質問** | **自然システム** | **社会システム** | **ガバナンスシステム** |
| 1. 自然、社会、ガバナンスシステムの範囲は、それぞれ何ですか？ |  |  |  |
| 1. 主な問題は、下記のどの地域レベルと関連しますか？各システムの適切なレベルについてご説明ください。 | A. ローカル  B. 地域別 (国内)  C. 国家  D. 国際 / グローバル | A. ローカル  B. 地域別 (国内)  C. 国家  D. 国際 / グローバル | A. ローカル  B. 地域別 (国内)  C. 国家  D. 国際 / グローバル |
| 1. 自然、社会及び/又はガバナンスシステムに影響を及ぼす要因は何ですか？ |  |  |  |
| 1. 上記の要因により、自然、社会及びガバナンスシステムにどのような変化がありましたか？ |  |  |  |
| 1. 上記の変化が自然、社会、ガバナンスシステムに与えた影響または結果は何ですか？ |  |  |  |

# 

# C. 脆弱性（Vulnerability）　(6問)

**各質問に対し、200～300語以内でできる限り多くの情報をご提供ください。**

**注意：本セクションでの質問は、主な問題の発生以前の期間を指します。**

|  |  |
| --- | --- |
| **質問** | **詳細内容** |
| 1. 生態系の生態学的状態（例えば富栄養化、大きさ及び/または栄養レベルの変化、主な生物種の減少、生息地の品質、外来種等構造の変化、死水域）はいかがでしたか？ |  |
| 1. 生産性（低い、普通、高い）はいかがでしたか？ |  |
| 1. 主な問題から直接影響を受ける主な生業（例えば、漁業、観光など）は何ですか？ |  | |
| 1. 主な問題の影響を受ける地域に、他の生業（例えば、養殖、加工業、林業など）がありましたか？ |  | |
| 1. 漁業及び養殖業の総生産量の何％が家計消費（取引されていない）に使われましたか？ |  | |
| 1. 漁獲または加工生産（漁獲・収穫後活動含む）が漁家所得に占める割合は何％ですか？ |  | |

# D. ガバナンス及びガバナビリティ (8問)

**各質問に対し、200～300語以内でできる限り多くの情報をご提供ください。**

**注意：本セクションでの質問は、主な問題の発生以前の期間を指します。**

|  |  |
| --- | --- |
| **質問** | **詳細内容** |
| 1. 主な問題発生以前、ローカル、地域、国レベルにおいて、漁業及び養殖業の管理に責任を持つ関連機関、団体（国、市場、市民社会を含む）は何でしたか？ | ローカル:  地域:  国家: |
| 1. 主な問題発生以前、ガバナンス方式（例えば、自主的管理、共同管理、ローカルレベルの階層的管理、ローカルより大きな規模の階層的管理、混合など）は何でしたか？ |  |
| 1. 主な問題発生以前の長期的管理目標を何でしたか？ |  |
| 1. 主な問題発生以前、管理目標を達成するために使用された主なルール、規定、手段及び措置は何でしたか？ |  |
| 1. 漁業及び養殖業のガバナンスに重要な役割を果たすインフォーマルなルール、規定、手段及び措置等がありましたか？ |  |
| 1. 主な問題発生以前、セクター間または生業の職業間における関係の特質はいかがでしたか（葛藤または協力）？   該当関係に注目すべき特別事項がありますか？ | 最も適切なところに✔を入れてください。   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  |  |  |  |   葛藤・矛盾 　　協力 |
| 1. 主な問題発生以前、当該地域社会において最も大きな権力を持つか、支配的立場にあったのは誰ですか？   （例えば、漁業者協会、労働組合、企業、政府、自営業等） |  |
| 1. 主な問題発生以前、当該地域社会における権力の集中または分散状況はいかがでしたか？（例えば、権力が数名/一つの組織に集中しているか、いくつかの組織に分散されているか） | 最も適切なところに✔を入れてください   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  |  |  |  |   分散 集中 |
| 1. 主な問題発生以前、ガバナンスシステムまたは個体（Individuls）に何か構造的変化がありましたか？変化及び発生要因をご説明ください。 |  |
| 1. 主な問題発生以前、主な規則、規定、手段及び措置に変化があるか、新たに導入されることがありましたか？変更事項及び導入の背景要因等をご説明ください。 |  |

# E. 対処・対応 (2問)

**このセクションの目的は、主な問題に対する自然、社会及びガバナンスシステムの対応・対処を評価するためであり、自然、社会及びガバナンスシステムの短期的（2～5年以内）及び長期的対応・対処に関する情報を求めます。各質問に対し、200～300語以内でできる限り多くの情報をご提供ください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **自然** | **社会** | **ガバナンス** |
| 1. 1. 主な問題以前、社会及びガバナンスシステムの**短期**的対応・対処内容は何でしたか？   （ガバナンスシステムまたは個体の構造的変化、または主なルール、規定、手段及び措置等の変化を含む） | NA | 対応・対処のタイプ  （例えば、行動変化、関係者の退出）  対応・対処のレベル  （国家、地域、ローカル） | 対応・対処のタイプ  （例えば、管理措置、技術変化、補助金等）  対応・対処のレベル  （国家、地域、ローカル） |
| * 1. 主な問題以前、社会及びガバナンスシステムの**長期**的対応・対処内容は何でしたか？   （ガバナンスシステムまたは個体の構造的変化、または主なルール、規定、手段及び措置等の変化を含む） |  | 対応・対処のタイプ  （例えば、行動変化、関係者の退出）  対応・対処のレベル  （国家、地域、ローカル） | 対応・対処のタイプ  （例えば、管理措置、技術変化、補助金）  対応・対処のレベル  （国家、地域、ローカル） |
| * 1. 社会とガバナンスシステムの**短期**的対応・対処の目標は何でしたか？ |  |  |  |
| * 1. 社会とガバナンスシステムの**長期**的対応・対処の目標は何でしたか？ |  |  |  |

# F. 評価(7問)

**このセクションの目的は、主な問題に対する自然、社会及びガバナンスシステムの対応・対処を評価するためであり、自然、社会及びガバナンスシステムの短期的（2～5年以内）及び長期的対応・対処に関する情報を求めます。各質問に対し、200～300語以内でできる限り多くの情報をご提供ください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **自然** | **社会** | **ガバナンス** |
| 1. 1. 自然、社会、ガバナンスシステムに対する**短期**的対処の結果（すなわち、Q23の目標の達成）は何ですか？ |  |  |  |
| * 1. 自然、社会、ガバナンスシステムに対する**長期**的対処の結果（すなわち、Q23の目標の達成）は何ですか？ |  |  |  |
| 1. 主な問題（セクションA）は解決されましたか？ | |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  |  |  |  |   いいえ 　不確実 　　　　　　十分 | | |
| Q 24.aで述べられている効果的（成功）**短期**結果に寄与した要因は何ですか？（例えば、政策の実施/強化、政府補助金） |  |  |  |
| Q 24.bで述べられている効果的（成功）**長期**結果に寄与した要因は何ですか？（例えば、政策の実施/強化、政府補助金） |  |  |  |
| * 1. **短期**目標の達成を妨害した要因は（ある場合）何ですか？（例えば、規制上の障壁、社会的まとまりの欠乏、高い費用、気候変動、裁判） |  |  |  |
| * 1. **長期**目標の達成を妨害した要因は（ある場合）何ですか？（例えば、規制上の障壁、社会的まとまりの欠乏、高い費用、気候変動、裁判） |  |  |  |
| 1. 対応・対処に対する正式な評価がありましたか？あれば、いつ、どのように行われましたか？ |  |  |  |
| **a.短期**的対応・対処の費用面でのメリットは何でしたか？ |  |  |  |
| **b.長期**的対応・対処の費用面でのメリットは何でしたか？ |  |  |  |
| 1. 短期的及び/又は長期的対応・対処を行うため、その他のオプションは検討されましたか？   当該オプションはなぜ採択されませんでしたか？ |  |  |  |

# G. 用語解説

**ドライバー(Driver)**

直接または間接的変化を引き起こすあらゆる自然的または人為的要因。 (http://www.greenfacts.org/glossary/def/driver.htm)

**生態系(Ecosystem)**

生物（例えば植物と動物種の組合せ）及び非生物（例えば物理的環境）の相互作用により形成された安定的システムの個別単位[1,2]。

**富栄養化(Eutrophication(Q6))**

生産性が栄養素の可用性により制限される海洋生態系の栄養強化プロセス（一般的に硝酸塩及びリン酸塩）。植物及び藻類の増殖は水の溶存酸素濃度を枯渇させ、しばしば他の有機体を死なせる。それは、地質時代の流れにより自然的に発生するが、人間活動により加速化されることがある（例えば、下水処理または土地排水）。このような活動を「人為的富栄養化」とも呼ぶ[1]。

**ガバナンス(Governance)**

ガバナンスは、特定の結果を達成するために集まる人達のグループを意味する。それは、社会問題または環境問題を解決し、機会を創りだすための政府、民間企業、市民社会、市民、及びその他利害関係者グループにおけるさまざまな相互作用を含む。日常的管理作業のほか、ガバナンスの範囲には、それらの相互作用を導き、それらを構成する組織を強化するための原則とビジョンの構築及び適用が含まれる [4,6] 。ガバナンスは、社会に影響を及ぼす決定を下すために、公共セクターと民間セクターが利益を明確にし、権利を行使するとともに義務を果たし、相互間の違いを調和すること等のメカニズム、プロセス及び機関を指す(Rosenau, 1999)。

**生息地(Habitat(main issue))**

有機体または人間が住んで切る物理的特性（例えば温度範囲、光利用性、食品供給または主な植物種）により特徴づけられる自然環境。海洋生息地にはマングローブ、潮間帯地域、サンゴ礁、深海などが含まれる。

世帯**(Household (Q10, 11))**

世帯は、家族構成員及び同一居住地で一緒に暮らす任意の非家族構成員からなす単位である。

**手段(または措置)(Instruments or measures (Q15, 16, 21, 22))**

手段とは、問題を克服することや求める効果を得るための管理に使用される道具であり、一般的に規制または経済的性格を持っている。情報と助言等「ソフトな」ものと税金、規制など「ハード」なものが含まれる。口頭契約、訪問または演説等は非公式的なものであるのに対し、法律、条約及び任命などは公式的な手段である[4]。

**侵入生物種(Invasive species (Q6))**

当該地域に侵入し、その地域の土着種または自然環境に被害を誘発することがあり、経済損失や人類の健康を害することができる固有種ではない生物種[1]。

**ガバナンス方式(Mode of governance (Q13))**

階層的管理、共同管理、自主的管理の三つのガバナンス形態が存在する。階層的管理は、政策と法律を用いるトップダウン式の「コントロール」スタイルの介入方式である。共同管理は、共通の目的（例えば漁業の共同管理）を持った多様な関係者の参画を必要とする。自主的管理（例えば、地域社会・コミュニティまたは市場基盤）方式では、関係者達が政府の範囲外で自ら管理することになる。自主的管理は、政府の統制撤廃や権限委譲により行われることがあるが、自発的に行われる場合もある[5,6]。

**権力（関係）(Power (relations) (Q18))**

権力とは他人の行為に影響を及ぼすことができる能力であり、社会関係の中でパワーリソースに対する関係者のアプローチにより決定される。富や就業機会等のような明白なパワーリソース以外にも多くのものが存在する。例えば、組織能力、専門知識、情報コントロール、社会的地域または名声などが含まれる。権力はAの行動にBが反応し、AがまたBに反応する相互性を持つ[7]。これは、排除する権力、市場に影響を与える権力、または意思決定に影響を与える権力として現れることができる。

**基礎生産力(Primary Productivity (Q7))**

植物性プランクトン、海藻類、マンアグローブ、海藻及びその他の植物等、葉緑素を含有した微生物による炭素の光合成固定作用。基礎生産力は一般的に、時間当たり、面積当たり固定された炭素の重さで測定され、g.C.m-2.yr-1で表記される。

**ルール（フォーマルまたはインフォーマル）(Rules (formal and informal) (Q15, 16, 21, 22))**

フォーマルルール（例えば憲法、法、規定等）は意図的に設計され、書面により成文化されており、警察や裁判所等の外部機関により施行される。インフォーマルルールは、人間の相互作用を通じて時間の流れにより自発的及び無意識的に発展し、文書で記録されていないルール、慣例、慣習、行動規範等の形がある。すべて（又はほとんどの）関係者は、ルールを守ることが役に立つこと（ほかの人も守る限り）を知っているため、インフォーマルルールはしばしば自発的に守られる。社会のインフォーマルルールを守らない人たちに対しては、他の関係者から彼らへの不満の表示、更にはグループ内での追放まで期待できる[3]。

**社会システム(Social system)**

異なる機能、特徴、出身または身分を持つ個人からなる団体または構造。<http://www.businessdictionary.com/definition/social-system.html>. 一貫した全体を形成するための個人、グループ及び機関の間の相互関係の特徴的パターン。[http://www.merriam-webster.com/dictionary/social system](http://www.merriam-webster.com/dictionary/social%20system).

**発生要因(Stressor** **(Section B, Q 3, 4))**

システムにおいて問題を発生させるイベント、条件、個体またはその他の刺激.[9]。

**構造的変化(Structural changes ((Q20, 22))**

目標達成のための組織構造の変更。これは、個人または部署の責務、責任においてだけではなく、報告関係や組織ヒエラルギーのレベルの数における部分的調整または全体の見直しとなることが考えられる[8]。

**栄養段階(Trophic level (Q6))**

生物の食物連鎖における位置。例えば、緑色植物（日光からエネルギーを直接得られる）は主な生産者、草食動物は主な消費者（2次生産者）であり、草食動物だけを食べる肉食動物は2次消費者及び3次生産者である。多くの動物はいくつかの異なる栄養段階の餌を食べる[2]。

**参考文献**

1 Allaby, M. 2010. A dictionary of ecology, 4th ed. Oxford: Oxford University Press.

2 Martin, E., Hine, R. 2008. A dictionary of biology, 6th ed. Oxford: Oxford University Press.

3 Skoog, G.E. 2005. Supporting the development of institutions – formal and informal rules. UTV Working Paper No. 3. Stockholm: Swedish International Development Corporation Agency.

4 Kooiman, J. 2003. Governing as governance. London: Sage Publications.

5 Chuenpagdee, R. 2011. Interactive governance for marine conservation: an illustration. Bulletin of Marine Science 87(2): 197-211.

6 Kooiman J., Bavinck, M., Jentoft, S., Pullin, R.S.V., eds. 2005. Fish for life: interactive governance for fisheries. Amsterdam: Amsterdam University Press.

7 Scott, J., Marshall, G. 2009. A dictionary of sociology, 3rd ed. Oxford: Oxford University Press.

8 Law, J., ed. 2009. A dictionary of business and management, 5th ed. Oxford: Oxford University Press.

9 “Stressor” Merriam-Webster online: dictionary and thesaurus, accessed August 14, 2013, http://www.merriam-webster.com/dictionary/stressor

# I. 不同意書様式

**目的**

統合海洋生物化学及び生態系研究プロジェクト(IMBER)の社会科学ワーキンググループ(HDWG)は、IMBER-ADApT（説明、対処、評価に基づいた分析）と呼ばれる意思決定支援ツールを開発しています。これは、世界各国における漁業と養殖、及びそれに依存する人たちのグローバルチェンジにかかわる問題を扱う事例研究から得た教訓に基づいて構築されます。主な目的としては、意思決定の難しさに直面する管理者、意思決定者及びその他の利害関係者に対して、効果的な対処方法のオプションを提供することにあります。

**情報とデータ**

IMBER-ADApTは一旦開発されましたら、オープンアクセスのウェブ応用プログラムとしてすべての関係者に提供される予定です。これは、貴方が提供するADApT事例研究テンプレートに入っている情報の一部または全部が、オンラインで使用されることを意味します。本様式に署名することによって、貴方は提供した情報のオンラインでの使用に同意しないことを表します。

**問い合わせ先（本研究についてご質問等ある場合、下記の連絡先までお問い合わせください）**

**〇英語でお問合せの場合**

Dr. Alida Bundy, Chair of Human Dimensions Working Group

Alida.Bundy@dfo-mpo.gc.ca

**〇日本語でお問合せの場合**

李銀姫（東海大学海洋学部・准教授）, Co- Chair of Human Dimensions Working Group

riginki@tokai-u.jp

**声明:**  
プロジェクトの性格及び目的について十分理解しておりますが、私のデータ及び研究内容を使用することに同意しません。

**署名: \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_**

**氏名:**

**住所:**

**Email:**

ご作成の事例研究とともに本様式をお送りください。提出していただた記録として本様式のコピーをお送りします。